

SDGs 支援を手掛ける株式会社 Plala とタイアップのお知らせ

昭栄薬品株式会社(本社：大阪府、代表取締役：藤原佐一郎)は、SDGsの観点からRSPOを周知していくことを目的に、SDGs支援を手掛ける「学生ベンチャー企業」株式会社Plala(本社：大阪府、代表取締役：原田瑞穂)の行う共同プログラムに賛同し、参加しました。

RSPO正会員である昭栄薬品は現在、化学品事業、日用品事業、土木建設資材事業を通じてSDGsに取り組み、その中で環境への取り組みとして、パーム油の世界的な需要拡大によるパーム農園の急速な拡大過程の中で発生した森林伐採や生態系の破壊、児童労働問題等の課題を真摯に捉え、サステナブルなパーム油生産の認証に対応しているRSPO認証油を普及していくことが、環境や社会の貢献に繋がると考えており、事業活動を行っております。

そこでSDGsの認知拡大・行動促進をビジョンに掲げるPlalaでは、Plalaが運営する「全国学生プラットフォーム」やイベント、SNS等を通じ、学生を中心とした幅広い一般の方に対し周知することで、昭栄薬品が取り組むRSPO普及活動の後押しを行います。8月と9月には、イベントを行い、昭栄薬品が講師としてRSPOの解説、説明を行う予定です。

両社は、学生と企業のコミュニケーションの場、機会を増やすことで、SDGsが掲げる目標17.パートナーシップで目標を達成しようの充実を図り、今後も広くSDGs活動の貢献に取り組んでいくことを目指しております。



SDGs(持続可能な開発目標)とは

SDGs(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)は「誰一人取り残さない(leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現を目指す、世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。

RSPOとは / <https://rspo.org/>

RSPO「持続可能なパーム油のための円卓会議」は、環境への影響に配慮した持続可能なパーム油を求める世界的な声の高まりに応え、2004年に設立されました。正式名称は“Roundtable on Sustainable Palm Oil”です。その目的は世界的に信頼される認証基準の策定とステークホルダー(関係者)の参加を通じ、持続的なパーム油の生産と利用を促進することにあります。

【記事内容等に関するお問い合わせ】

昭栄薬品株式会社 総務部 電話番号：06-6262-2707